日本磁気歯科学会雑誌投稿規程

1．投稿資格

本誌に投稿する著者（共著者）は，本学会会員あるいは所定の手続きを済ませた非会員に限る．ただし，編集委員会が認めた者はこの限りではない．

2．原稿内容

1) 原稿の内容は，本学会の目的に沿った研究成果，臨床報告などで，他誌に未発表のものに限る．
2) 原稿の種別は，総説，原著論文，臨床論文，その他講演抄録とする．著者としての希望は投稿時に原稿の表紙に明示すること．ただし，その決定は編集委員会で行う．

3．倫理規定

ヒトを研究（実験）対象とする内容については，ヘルシンキ宣言を遵守して，倫理的に行われており，被験者あるいは患者のインフォームドコンセントが得られていなければならない．また，所属施設の倫理委員会等の承認が得られていなければならない．

動物を研究（実験）対象とする内容については，所属施設の動物実験委員会が設置された後の研究については当該委員会の承認が得られていなければならない．また，各種の動物保護や愛護に関する法律や基準に則していなければならない．

4．利益相反

投稿にあたってすべての著者は投稿時から遡って過去1年以内における利益相反について申告する．利益相反関係については論文の末尾に，謝辞または文献の前に記載する．

記載例：

本研究は○○の資金提供を受けた．

○○の検討にあたっては，○○から測定装置の提供を受けた．

5．原稿投稿方法，在読，採否，掲載順序

1) 総説，原著論文，臨床論文，その他講演抄録の投稿は，日本磁気歯科学会雑誌編集担当へＥメールにより送信する．
2) 投稿された原稿は，編集委員会で査読を行い，採否を決定する．必要に応じて査読委員を委嘱する．
3) 掲載順序は，編集委員会が決定する．

6．投稿料

1) 投稿料は刷り上がり1頁当たり10,000円とするまた，カラー印刷，トレース，英文抄録校閲費などの実費は別途に算出して著者負担とする．ただし，依頼論文，講演抄録の掲載料は無料とする．
2) 別刷り希望の場合は原稿投稿のおり編集委員会宛に申し出ること，その経費は著者負担とする．

7．著作権

本誌に掲載された論文の著作権（著作財産権 copy right）は本会に帰属する．本会が必要と認めたときあるいは外部からの引用の申請があったときは，編集委員会で審議し，掲載ならびに版権使用を認めることがある．

8．複写権の行使

著者は当該著作物の複写権および公衆送信権の行使を本会に委任するものとする．

9．校正

著者校正は原則として初校のみとする．組み版面積に影響を与えるような加籠，変更は認めない．

10．原稿の様式

投稿原稿は「日本磁気歯科学会雑誌」投稿の手引きに従って執筆する．準拠しない原稿は加筆訂正を申し入れる．または却下する場合がある．

11．改廃

この規程の改廃は，編集委員会の発議により，会則検討委員会での協議のうえ，理事会の承認を得なければならない．

Presented by Medical*Online

附　則

1　この規程は，平成3年12月6日から施行する．
2　平成6年12月9日　一部改定
3　平成22年10月30日　一部改定
4　平成23年11月12日　一部改定
5　平成24年11月2日　一部改定
6　平成25年11月2日　一部改定
7　平成26年11月8日　一部改定
8　平成27年11月14日　一部改定
9　平成30年4月27日　一部改定
10　令和4年11月5日　一部改定

日本磁気歯科学会投稿の手引き

日本磁気歯科学会雑誌への投稿では，投稿規程のほかは本手引きに準拠する．

1．投稿方法の概要

1) 投稿は，日本磁気歯科学会編集委員会宛へEメールにより送信する．
2) 原稿は次の順に作成し，番号ごとに改頁する．
表題の頁を第1頁とし，頁番号を下段中央に記す．表は本文末に表ごとに改頁して涼付し，図はPower Pointファイルに貼りつける．
(1) 表題，著者名，所属キーワード5語以内（和文，英文），別刷り数，PDFの要否
(2) 和文抄録（総説論文の場合のみ必要）400字以内
(3) 英文抄録，200 words　以内
(4) 本文原稿
(5) 文献
(6) 図表のタイトル
(7) 表

2．原稿の様式

1) 文章および表はMS-Wordに記載し，特に表については本文末に表ごとに改頁して添付することまた図に関しては，Power Pointにて作成することとする．
2) 図表については，全段または片段を指定し，白黒またはカラーを図表ごとに明記すること．
3) 原稿は，漢字混じり平仮名，口語体，横書きとし，A4版，余白（全て25mm），行数（36～40行程度），文字の大きさ（10.5pt）で記載すること．歯式はFDI方式を使用すること，英文も同様．本文中の句読点は，カンマ（,）ピリオド（.）を使用すること．また，数字，欧文はすべて半角で入力し，欧文における単語間は半角とする．
4) 本文の他に，和文抄録（総説の場合のみ：400字以内），英文抄録（200 words以内），キーワード（英訳つき，5語以内）を記載すること．
5) 必ず表紙を付け，表紙には，表題，著者名（フルネーム），所属（以上には英語訳を付ける），キーワード（英訳付き，5語以内），別刷り数，pdf（別刷りのpdfです）の要否を記載すること．
6) 原稿（表紙，和文抄録，英文抄録，本文，引用文献，図表のタイトル，表を含む）（Author_txt.doc）と図（Author_ppt）の2つのファイルに分けて送ること．図表には，表1，図1等の番号とタイトルをつけ，挿入箇所を本文の右欄外または文中（カッコ書きで図表の番号を記入）に朱記すること．図表内容の詳細な説明はタイトルに記載しないこと．
7) 総説，原著論文は原則として刷り上がり20頁以内，臨床論文は10頁以内，その他は5頁以内とし，講演抄録は本文を800字以内とする．なお，講演抄録には，図表および英文抄録は付けない．

Presented by Medical*Online

3. 文献の記載様式

1) 本文で引用した順序に一連番号を付して列記し，本文の末尾に記載する，同一箇所で複数引用した場合は年代順とする．
2) 著者名は姓，名（外国人の First Name はイニシャルのみ）の順とする．
3) 共著の場合は筆頭者を含め6名まで記して，7人目からは,「ほか」または[et al.J と略す．ただし，広報編集委員会が認めれば7名以上を記載することができる．
4) 引用文献の表示は原著の表示に従う．英文の場合は，文頭の語の頭文字のみ大文字とする．
5) 雑誌文献引用記載は次の方式による．
   (1) 雑誌論文は著者．表題．雑誌略名　発行年（西暦表示とする）：巻：頁－頁．の順に記載する．頁は通巻頁を原則とするが，頁表記が1号ごとに第1ページから始まる（通し頁でない）雑誌に限り，号も記載する．
   (2) 雑誌の略名は当該誌が標傍する略称とする．それ以外は医学中央雑誌の略名表と Index Medicus に準拠する．
   (3) 原書あるいは原論文が得られずに引用する場合は,末尾に(から引用)と付ける．
   (4) 受理されたが未発刊の文献は末尾に印刷中（英文の場合は，in press）と記載する．
   (5)Web ページの引用記載様式は，Vancouver style とする．

   一般例：

   田中貴信，中村好徳，神原　亮，庄司和伸,熊野弘一,増田達彦ほか．磁性アタッチメントの新たな適応症を求めてー歯冠外アタッチメントへの挑戦ー．
   日磁誌 2000；15：256-264.

   KanbaraR., Nakamura Y., Ando A., KumanoH., Masuda T., Sakane M. et al. Stress analysis of an abutment tooth with extracoronal magnetic attachment. J J Mag Dent 2010; 19: 356-357.

   Cancer Research UK. Cancer statistics reports for the UK, <http://www.cancerresearchuk.org/aboutcancer/statistics/cancerstatsreport/>; 2003 [accessed 13.03.03].

   通し頁でない雑誌の例：

   宮田利清，中村好徳，安藤彰浩，庄司和伸,新実　淳,熊野弘一ほか．磁性アタッチメントの加熱による吸引力へ の影響．日磁誌 2009; 19 (5):15-20.

   Kanbara R., Nakamura Y., Tanaka K. Three-dimensional finite element stress analysis. Dent Mater J 2012; 31 (3): 29-33.

6) 単行本文献引用記載は次の方法による．
   (1) 単行本は著者．書名．発行地：発行者；発行年，頁－頁．の順に記載する．
   (2) 単行本の書名は略記しない．
   (3) 単行本を2カ所以上で引用する際は，各々の引用頁を記載する．

   例：

   田中貴信．磁性アタッチメント．東京：医歯薬出版：1995,122-130.

   Glickman I. Clinical Periodontology. Philadelphia：Saunders：1953,76-78.

   Shillingburg HT, Hobo S, Whitsett LD, Brackett SE. Fundamentals of fixed prosthodontics, 3rd ed. Chicago：Quintessence：1997, 155-169, 211-223.

7) 分担執筆の単行本文献引用記載は次の方式による．

   分担執筆の単行本は分担執筆者．分担執筆の表題．編者または監修者，書名，巻などの区別，発行地：発行者；発行年，頁－頁．の順に記載する．

   例：

   津留宏道テレスコープシステムの理論と実際．林都志夫,保母須弥也,三谷春保ほか編，日本の補綴，東京：クインテッセンス出版；1981, 277-291.

   Ogle RE. Preprosthetic surgery. In：Winkler S, editor, Essentials of complete denture prosthodontics, Philadelphia：Saunders：1979, 63-89.

8) 翻訳書文献引用記載は次の方式とする．

   翻訳の単行本，論文は著者（翻訳者）．書名（翻訳書名．発行地：発行者：発行年，頁－頁），発行年．の順に記載する．

Presented by Medical*Online

例：
Hickey JC, Zarb GA, Bolender CL（川口豊造）. Boucher's prosthodontic treatment for edentulous patients（バウチャー無歯顎患者の補綴治療．東京：医歯薬出版；1988, 397-399.), 1985.

4. 図と表の書き方

1) 図表は，片段あるは両段を指定し，白黒あるいはカラーの区別を明記すること．
2) 図表のタイトルおよび説明文を併記する．
3) 図と表（写真を含む）は本文で引用順に，表は表1, 表2…, 図（写真を含む）は図1, 図2…のように一連番号をつける．表および図は1枚ごとに改頁する．
4) 表1，図1等の番号とタイトルをつけ，挿入箇所を本文右欄外または本文中に朱書する．
5) 図ファイル(Power Point)の総データサイズが15メガバイト(MB)未満となるよう可能な範囲内でできるだけ鮮明に図表の画像データを調整するもし画像解像度が著者の満足する水準に至らない場合は，投稿論文受領後，出版前最終校正時に所望する画像データを日本磁気歯科学会編集委員会へ送付する．

5. 学会誌掲載時の校正

1) 学会誌掲載時の校正は著者が行う．学会事務局から電子メールで著者に送付されるPDFファイルの校正用原稿に，日本工業規格(JIS 28208-2007)に準拠した形式で校正を行う．
2) 校正を終了した原稿は，電子メールもしくはファックスで速やかに返送する．

6. その他論文作成上の留意事項

1) 見出しは次の順に項目をたて，順に行の最初の一画をあける．
　Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ，Ⅴ，
　1，2，3，4，5，
　1）2）3）4）5）
　(1)(2)(3)(4)(5)
　a，b，c，d，e，
　a）b）c）d）e）
　(a)(b)(c)(d)(e)
2) 材料，器材の表記は，一般名（製品名，製造社名，所在地，国名）を原則とする．
　例：即時重合レジン（ユニファースト，GC，東京，日本）
3) 磁気歯科学に関連する学術用語は最新の「日本磁気歯科学会学術用語集」（日本磁気歯科学会編），その他の歯学学術用語などについては最新の「日本歯科医学会学術用語集」（日本歯科医学会編）ならびに「歯科補綴学専門用語集」（公益社団法人日本補綴歯科学会編）に準拠する．
4) 計測データとその取り扱い：計測データは，原則として，平均値，標準偏差等の統計値を用いて表現されるべきである．また，データの属性や分布に応じて，適切な統計解析を行わなければならない．
5) 数字は算用数字とする．
6) 数字を含む名詞，形容詞，副詞（例：十二指腸，三角形など）は漢数字とする．
7) 単位は原則として国際単位系の基本単位，補助単位および組み立て単位を使用する（温度は摂氏を使用する）．また，量を表す記号に続く単位に付する記号は「()」を使用する．
　参照：単位及び単位間換算表：日本金属学会編（及川洪）．「改訂二版金属データブック」(1984) 丸善（株）

原稿の様式の例

原稿は，以下の順に作成し，番号ごとに改頁する．

表題の頁を第1頁とし，頁番号を下段中央に記す．表は本文末に表ごとに改頁して添付し，図はPower Pointファイルに貼りつける．

1．表紙

1) 表題（英語訳を付ける）
　磁気歯科学会雑誌のための原稿の書き方
　How to write draft for J J Mag Dent
2) 著者名所属（英語訳を付ける）
　著者名：磁気太郎，磁石花子1, 根面板介，吸引力1

Presented by Medical*Online

Taro Jiki, Hanako Jishakul, Bansuke Konmen and Chikara Kyuinl
所属名：江戸大学歯学部歯科理工学講座
1 上方大学歯学部歯科理工学講座
Department of dental Materials Science, School of Dentistry, Edo University
1Department of dental Materials Science, School of Dentistry, Kamigata University

3) キーワード（英訳付き，5 語以内）
磁性アタッチメント (Magnetic attachment), 磁石 (Magnet), キーパー (Keeper), 磁石構造体 (Magnetic assembly), 金合金 (Gold alloy)

4) 別刷数
別刷数 100 部

5) pdf(別刷りの pdf です) の要否を記載のこと.
pdf　要

------- 改ページ -------

2. 和文抄録（総説論文の場合のみ必要）
400 文字以内

------- 改ページ -------

3. 英文抄録
Max 200 words

------- 改ページ -------

4. 本文
Ⅰ．諸言，Ⅱ．材料および方法，Ⅲ．結果，Ⅳ．考察，参考文献の順に記載すること.

文献は引用箇所に番号をつけ，本文の末尾に引用順に並べる.

------- 改ページ -------

図表のタイトルを引用文献の後につける.
図 1　……
図 2　……
表 1　……
表 2　……

------- 改ページ -------

表は本文末に表ごとに改頁して沿付する
表 1

------- 改ページ -------

表 2

図は Power Point にて作成する

原稿送付先

明海大学歯学部機能保存回復学講座
有床義歯補綴学分野学内
日本磁気歯科学会編集委員会
委員長　曽根峰世

〒 350-0283　埼玉県坂戸市けやき台 1-1
TEL：049-279-2747　FAX：049-279-2747
E-mail：jjmag@jsmad.jp

Presented by Medical*Online